

本時のねらい

身の回りにあるプラスチックごみについて考え、問題解決に向けて自分にできることを考える。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

- ・ロイロノートのカードを使って、自分の考えをすばやく書き出すことができる。
- ・ロイロノートの共有ノート機能を使うことで、個人で書き出したカードを分類・整理することができる。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・ロイロノート
- ・大型モニター

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ○本時の課題を知る。 「身の回りにあるプラスチックごみについて考えるよう」 ○プラスチックごみの増加により起きる弊害について考える。 【写真1】 	<ul style="list-style-type: none"> ○わくわく問題に出題されたリーフレットの一部を大型モニターで見せ、どのようなことが想像できるかを考えさせる。
展開 (25分)	<ul style="list-style-type: none"> ○プラスチックごみを減らす方法について考える。(個人) ○個人で考えた方法を3Rの視点で整理する。 (グループ) ○考えを全体で交流する。 【写真2】 	<ul style="list-style-type: none"> ○ロイロノートを使い、自分の考えを書き出す。一枚のカードに一つの方法を書いていく。 ○ロイロノートの共有ノート機能を使い、シンキングツールのYチャート上で、リデュース・リユース・リサイクルの視点で分類させる。 ○児童が提出したYチャートを大型モニターに提示し、それを使って発表させる。
まとめ (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ○「今、できていること」「これからしていきたいこと」「人に呼びかけたいこと」などの視点で振り返りをする。 ○振り返りを交流する。 【写真3】 	<ul style="list-style-type: none"> ○振り返る視点を大型モニターで提示する。児童の端末にも送り、活用してもよいことを伝える。 ○児童が提出したロイロノートのカードを大型モニターに提示する。

1人1台端末を活用した活動の様子



【写真1】プラスチックごみの増加による弊害について考える様子



【写真2】Yチャートを使って整理した方法を発表する様子



【写真3】個人の振り返りを大型モニターに映しながら発表する様子

児童生徒の反応や変容

- ・「ゴミを減らすためにできること」をロイロノートのカードに書き出した。加筆・修正が容易なため短時間にたくさんのアイデアを出すことができていた。
- ・グループごとに共有ノート機能を使ってシンキングツールのYチャート上で分類・整理した。全員が同じ画面を共有しながら話し合うことで、スムーズに進めることができた。また、同じアイデアは重ね、似たものは近くに置くなど、視覚的にも見やすくまとめることができた。
- ・各グループの発表を聞いたり見たりすることで、自分たちが思いつかなかったアイデアに対して肯定的な反応が多くあり、意欲的に取り組もうとする姿が見られた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・グループで話し合っ整理したカードを大型モニターに映し、それらを使って発表することで学級全体に分かりやすく伝えることができた。
- ・振り返りもロイロノートのカードに書き出して行った。回答を共有することで書くことに難しさを感じている児童も、他の児童のカードを参考にしてスムーズに振り返ることができた。
- ・その後、本時で考えた「自分にできること」に取り組んでいるか、また取り組もうとしているかについて探っていく機会を設けることを計画している。